



学校教育目標 「心豊かに たくましく生きぬく 実践力のある子どもの育成」

～徳・知・体の調和のとれた人間の育成～

<めざす児童像>

「表現力にあふれ、時を守り・場を清め・礼を正す子ども」

- 自ら考え、その思いや考えを相手に適切に伝えることができる子ども
○ 時間やきまりを守り、けじめのある学校生活ができる子ども
○ みんなのためにしっかり働く子ども
○ 自ら進んで挨拶をし、思いやりのある子ども

<めざす学校像>

いつも ずっと みんな だいすき 泉台小学校

- 子どもが主役となる楽しい学校
子どもに確かな学力をつけ、楽しい学習活動が展開される学校
温かい人間関係で結ばれた学校
子どもや保護者・地域から信頼される学校
研究・研修を通し謙虚に学び合う学校

<めざす教職員像>

常に危機管理意識をもち、子どもの力を伸ばすために努力を惜しまない、信頼される教職員

- 子どもの力を伸ばすために、一時間一時間の授業を大切にしている教職員
○子どもに明るく接し、温かい言葉をかける教職員
○子どもとともに汗を流し、時を守り、場を清め、礼を正す教職員
○自己反省の姿勢をもち、専門性、指導力の向上のため常に研修に努める教職員
○常に教育公務員としての自覚をもち、高い危機管理意識をもった教職員
○組織の一員としての自覚をもち、組織の大切さを理解している教職員

本年度の重点

<重点1>

「時を守り・場を清め・礼を正す」ことを柱に、心の育ちを推進する学校

①時を守り

チャイム・廊下歩行・名札

- 時間を守る指導を徹底する。(登校・下校時間、授業の開始・終了、掃除時間など)
○学校の決まり、約束を守る指導を徹底する。「泉台小学校のやくそく」
○生活規律や学習規律を確実に身につけさせる指導を行う。

②場を清め

そうじ・揃える・役立つ喜び

- 整理整頓された校舎内外の美的な環境、子どもの心を和ませる環境づくりに取り組む。
・教室内や廊下等の掲示物の工夫…①新鮮さ、②アイデア、③子どもへの感化など
・特別教室等、学びの場の環境整備
○子ども自身による場づくりとして、各学年・各学級において清掃指導に力を入れる。
・清掃の仕方の指導…①分担の明確化、②道具の準備、③手順・方法、④ほめ言葉
・職員も子どもとともに掃除をし、働くことのよさを教える。「木曜日：もくもく掃除デー」
○自分が居る場のために働くこと、役に立つことの価値を教え、学校、学級、また、自分や誰かのために、知恵や力を発揮してしっかり働く心情と行動を育てる。

③礼を正す

あいさつ・返事・言葉遣い

- 相手意識をもった挨拶ができるように指導するとともに、言語環境の改善を図る。
・自ら、相手意識をもった挨拶をする指導
・正しい言葉遣い、やさしくあたたかい言葉の励行。
○人を大切にできる心、相手に対して思いやりのある言動を教える。

☆職員が自ら進んで「時を守り・場を清め・礼を正す」生活習慣の範を示す。

☆篠崎中学校区「生活10のめあて」の意識

<重点2>

子どもに確かな学力をつけ、子どもが主役となる楽しい学習活動が展開される学校

①「自分の思いや考えをもたせる」指導に力を入れた授業づくりに努める。

考えを書く、話す習慣・体験

- すべての学習活動で自分の思いや考えをもたせ、その交流の場(対話や意見交換、話し合い等)や発表の場を設定する。
○ねらいを明確にした言語活動を設定し、工夫する。
○体験的な活動、自ら考えざるを得ない場面を意図的に仕組む。
○読書活動を充実させる。週1回の読書活動の確実な実施。
○主題研究についての理解を深め、児童の思考力や表現力の育成を図る授業の充実を努める。

②子どもが主役となる、分かる、楽しい授業づくりに努める。

板書・ノート指導・振り返り

- 1時間の学習のめあてや流れ、学習の要点、まとめが分かる板書に努めるとともに、それらと、児童の思考の足跡、振り返り、自主的な学習等が明確に整理されたノート指導に努める。
○様々な学習活動の事前指導を丁寧に行い、意欲や見通しをもたせるとともに、事後や授業終末の振り返りを大切に、学びを確かめ、価値を実感させ、次時につなぐ。
○日頃の体育科の学習や保健指導、食育等を工夫するとともに、多様な遊びにも触れさせる。
○教えるプロとして、常に授業改善・向上の意識をもち、楽しく分かる、子どもが主役となる授業づくりのための研修や研究に努める。
○若年及び新規採用教員の指導力向上を図るために、全職員で協力して指導に当たる。各教科・領域の主任が中心となり、若年や新規採用者に対して授業公開や各種研修を行う。

③個に応じたきめ細かな指導を行い、基礎学力の向上に努める。

朝の15分・計画的な個に応じる指導

- 各種実態調査の結果を踏まえ、子どもの実態を確実に把握する。
○少人数指導や習熟度別指導、個別指導を積極的に取り入れ、計画的に個の課題に応じた指導・支援を行う。
○重点領域・重点単元を設定し、確実な理解を図る。
○月・水・金の3日間は、朝の15分間を授業時間として設定し、学力向上のための取組を確実に実践する。
○音読活動に力を入れる。(ひまわりを中心として確実に実施)
○家庭学習充実への啓発及び協力依頼を積極的に行う。(毎日学年に応じた時間が必要な宿題を出す。更に自主学習を促す。)

<重点3>

児童理解に基づく個に応じた指導・支援を行い、高い危機管理意識をもつ、安全で信頼される学校

①子どもが安心して登校できる環境を整える。

- 認め合い、尊重し合う人間関係づくりに努め、学級に支持的風土をつくる。
○どの子も学級集団の中に居場所があり、自己実現できる学級経営の充実に努める。
○心のアンケートを確実に実施するとともに、日頃から子どもの小さなサインも見逃さず(健康観察、日頃からの声かけの徹底、休み時間の過ごし方の確認等)諸事象に対し、適切かつ迅速な対応を行う。
○各種通信や電話連絡、家庭訪問など、日頃から家庭との連携を密にする。
○子どもや家庭の問題解決のため関係機関との連携を図る。
○教育相談活動の充実に努める。(スクールカウンセラーの活用)

②一人一人の児童の実態を適切に把握し、個に応じたきめ細かな指導・支援に努める。

- 担任、特別支援教育コーディネーターを中心として、専門機関・関係機関との連携を図りながら校内指導体制の充実に努める。
○特別支援教育の視点から、個に応じた指導や支援を行い、一人一人の児童の課題の克服、行動の改善に努める。
○児童の実態を適切に把握し、情報を全職員で共有し、きめ細かな指導・支援を行う。
○保護者との連携を密にし、相互理解のもと効果的な支援に努める。
○職員が特別支援教育に対する理解と見識を深める。

③一人一人の職員が、高い危機管理意識をもつ。

- 危機管理の「さ・し・す・せ・そ」を実践する。
○第1には、児童の声、表情、行動に敏感になる。そして、職員や来訪者等の人の動きに対しても敏感であるように努める。
○出欠の確実な把握、そして連絡・相談・報告・結果の共有。
○生徒指導上の問題については、小さなことでも連絡・相談・報告・結果の共有、確実な記録。
○児童の下校確認(教室、下足室や運動場・校門付近、時には公園等)を確実に実施する。
○日々の安全点検、安全指導を徹底する。(全職員で安全に留意)
○地域や保護者と連携して児童の安全な登下校及び学校生活を確保する。
○火気や危険物を使用する学習や校外活動の事前連絡と安全対策、報告を確実に実施する。
○物品の保管・管理、教室や出入り口や保管場所等の施錠を徹底し、危険防止や盗難防止に努める。(特に火気をともなう物品、薬品、金銭、貴重物品)
○個人情報漏洩に細心の注意を払うとともに、体罰の禁止、交通法規の遵守(特に飲酒運転は厳禁)、セクハラ防止等に努め、信用失墜に当たる行為をしない。

○ 私のことは、私一人の問題ではない・・教職員は、ひときわ責任の自覚が求められる、大きな組織の一員であることを肝に銘じよう。

○ 想像力を働かせよう・・飲酒運転が招く事態を、全てを失う顛末を、我が事として「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな、乗る人には飲ませるな」